

20180620 大阪府北部地震検討会

平成30年6月18日発生の
大阪府北部を震源とする地震に関する
医療の動き

災害医療国際協力学分野
佐々木宏之

6月18日(月)

7:58 地震発生（最大震度6弱、大阪府北区、高槻市、枚方市、茨木市、箕面市）

【参考】日本DMAT活動要項

1. DMATの待機要請

- 次の場合には、**すべてのDMAT指定医療機関**は、被災の状況にかかわらず（中略）DMAT派遣のための**待機**を行う。
 - その他の地域で震度6弱以上の地震発生

9:46 大阪府庁 DMAT調整本部立ち上げ

〈活動方針〉 **医療機関被害状況把握→EMIS（広域災害医療救急情報システム）**

1. **災害拠点病院連絡確認**
2. **病院耐震化データを元に被害病院の予想**
3. **保健所によるその他の非救急告示病院調査**

6月18日(月)

11:08 厚労省医政局DMAT事務局よりDMAT派遣要請

1. 派遣要請都道府県：**大阪府・兵庫県・京都府・滋賀県**のDMATの派遣を要請
2. 以下の活動拠点本部に参集してください。
兵庫県内DMAT→豊能医療圏DMAT活動拠点本部（大阪大学医学部附属病院内）
京都府内DMAT・滋賀県内DMAT→三島医療圏DMAT活動拠点本部（三島救命救急センター内）
大阪府内DMATは大阪府DMAT調整本部の指示に従ってください
3. 広域災害・救急医療情報システムDMATメニューへ入力するよう指導方お願いいたします。

6月19日(火)

17:01 厚労省DMAT事務局

保健医療調整本部活動方針 6月19日(火曜日) 15時現在

1. **保健所を中心とした地域災害医療体制の確立の維持**
 - ①代表保健所4か所による医療圏内会議の継続開催
 - ②代表保健所の本部機能強化必要性の精査
2. 医療ニーズの把握の継続
3. 避難所アセスメントとEMISへ登録の確認と解析準備
4. 保健医療調整本部の勤務シフト作成

災害医療→通常医療へ

医療→保健・福祉へ

府・DMAT→地域・保健所へ

※DPAT（災害派遣精神医療チーム）：発災当初から体制整備、活動
感染症学会関連：基幹病院が通常診療体制のため、ICT等派遣せず

都市型災害での医療の課題(ポイント①～⑤)

① 職員の通勤問題(初

② エレベーター問題

③ 通信問題:病院被災

④ ライフライン途絶問題
(比較的大丈夫だった)

⑤ 保健所を中心としたスムーズな地域災害医療
体制への移行

BCP、災害対策マニュアル整備

〈事前対策〉

1. 重要業務、優先業務の決定
2. 復旧計画(代替手段、コンタクトリスト、協定)
3. 衛星通信、緊急時連絡先
4. 貯水槽耐震対策、備蓄、代替手段(井戸、ガスコンロ等)